

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 19日

事業所名 放課後等デイサービス キッズ☆station 長浜

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・空間を分けてクールダウンや療養の場は設けている。	支援員の目が行き届くような空間づくり、活動のグループ分けをしていきます。
	2	職員の配置数は適切である	○		・指導員有資格者の配置数は適切だが、急なアルバイトの休みなどがあり人数が不足する日がある。	今後も指定基準に基づき、職員を配置していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	・玄関など段差がある。配慮が必要な利用者は支援を行っている。	玄関周りにわずかな段差、階段がある。移動の際は必ず手をつなぐようにしています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			勤務時間内に、振り返りなどができるように努めています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者の声を聞き、利用者の安心安全につながるよう業務をしている。	保護者から直接頂いた意見を取り入れ、業務改善に繋げていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			保護者への配布だけでなく、ホームページにも自己評価結果を記載しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後も、必要に応じて関係機関に見てもらい機会を増やしていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・外部研修には参加している。全員で行う研修がもう少しあると良いと思う。	外部の研修会にも積極的に参加して、その内容を全職員で共有できるようにします。
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			中間報告や達成の状況など、保護者様と確認を行いながら今後も計画の作成に取り組めます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			共通のアセスメントツールを使用し、利用者の状況を把握しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・利用者の状況等、朝のミーティングで共有し計画を立てている。	職員全員で一人一人の特性や支援目標について共通理解を持ち、活動プログラムの作成をしていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			繰り返し行うことで効果が期待される活動は毎回行っています。活動内容に偏りがないよう見直しと話し合いを行います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○	・職員各自の課題、利用者の課題が明確でないことが多い。	季節に合わせた芸術活動、イベントを考えプログラムを考えています。様々な経験ができるよう、きめ細やかな計画を立てています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・利用者に応じて支援内容などを考え職員間で共有している。	個別と集団で身に付けてほしい力を考え、保護者や利用者のニーズに合わせて計画を作成しています。

の提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・正規職員の打ち合わせはできているがバイトやパートの指示はやや曖昧なことがある。	土曜、祝日は送迎の為、来所前に打ち合わせができない職員もいますが、活動前には必ず打ち合わせを行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・朝のミーティング以外に送迎終了時などで日々合った出来事を振り返っている。	送迎の職員もいる為、支援終了の当日に振り返りを行えない場合もありますが、翌日以降に振り返りや、気づいた点、改善点など話し合い共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・記述内容が具体的にでないことがあり、チェックを行い記述を追加している。	記録の情報をもとに、支援の検証や個別支援計画の作成に使用しています。感想ではなく、事実の記録を徹底し指導改善に繋がるようにしていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6ヶ月に1回は面談や話し合いをし、計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			自立支援、創作活動、余暇の提供をベースとして支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・原則管理者が出ている。	サービス担当者会議には毎回参加するよう心がけています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・送迎時には利用者の担任と情報の共有を行っている。	行事や送迎時間だけでなく学校での様子や行動、トラブルなどの情報も共有し連携が取れるように努めます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	・医療的ケア児の受け入れはしていない。	現在、医療的ケアが必要な利用者はありません。今後対象となる利用者がありましたら、主治医と連絡体制を整えて、支援します。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・児童発達支援センターと情報共有をしている。	今後必要があれば、こちらから連絡を取り、情報共有等努めていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	・希望があれば情報を提供するが今のところ希望はない。	今後必要があれば、こちらから連絡を取り、情報共有等努めていきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			強度行動障害のケースについて発達支援センターや関係機関と連携をとり支援の方向性を模索していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・現在のところ他の児童クラブとは関わりはないが、イベントなどを企画していく中で機会を設けていきたい。	他の児童クラブとの行事での交流は今のところありません。保護者様の意見も取り入れながら、今後検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		全体会に参加し、分科会の会議記録にはかかさず目を通しました。時間のやりくりをし、分科会にも参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・子どもの様子や確認事項など保護者と話し合い共有するようにしている。	送迎時や電話だけでなく、支援計画の更新時など計画的に時間を設けて共通理解を計っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者が集団で集まる機会がなく実施できていないのが現状です。保護者が集まる機会があれば実施していきたいと思います。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明をしています。不明な点がある場合はお問い合わせいただいています。	

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・保護者から出た悩みについて、ゆっくり話し合う場を作っていくことが必要になってきている。	定期的な面談だけでなく、お困りごとや相談などはその都度ご連絡をいただきましたら対応させていただきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・保護者からの希望はない。	希望される方がいけませんので、保護者会等の開催は今のところ考えておりません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情に対しては、まずは事業所内で対応している。	今後も苦情発生のないよう努めて参りますが、発生した場合は迅速に対応、改善を行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・毎月、お便りや利用予定表でイベントなどを通知している。	月に1度通信を配布しています。保護者からこんな情報が欲しい等のご要望がありましたら掲載していきたいと思えます。
	35	個人情報に十分注意している	○			文書庫は必ず施錠し、廃棄の場合はシュレッター処理するなど、今後も十分に気をつけ管理を行います。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			今後も視覚支援等、利用者、保護者に合わせた配慮を行い、コミュニケーションを取っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・地域との関わりは今後の課題である。	地域住民の招待は現在行っていません。今後夏祭りなどの行事の時に必要であれば検討します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		BCPの内容についてわかりやすい形で保護者様に周知できないか検討します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・必要に応じて行っている。	計画的に避難訓練を実施するとともに訓練の様子を広報で知らせています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・職員研修はもう少しあっても良い。	虐待防止のためのミーティングは定期的に行い、利用者との関わり方等で困っている点について、その都度話し合いをしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			現状、該当する事例がないので、説明、記載等は行っていません。必要性が出てきた時は、保護者の了解を得て支援計画に記載していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食物アレルギーには細心の注意を払い、誤食がないように徹底します。そのアレルギー症状がある利用者に関しては、契約時に確認を行っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			事例集を作成し、職員間で共有し、再発防止に取り組んでいます。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月19日

事業所名 放課後等デイサービス キッズ☆station 長浜 保護者等数(児童数) 26 回収数 19 割合 73%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	1		3		学習室、遊具室、PC室、活動室など目的に応じた活動をしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	4		3		支援の在り方について、個別支援計画ミーティングや毎日の打ち合わせ時に協議しています。また障がいの特性理解や支援の在り方の専門性を深めるため、職員研修を行っています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	1		10		室内はほぼバリアフリーになっています。玄関周りにわずかな段差があり、必ず手をつないで移動しています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	18	1				個別支援計画作成のためのアンケートを実施し、ご要望を十分聞き取った上、今後も作成してまいります。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	19					個別の課題に応じた活動内容を全員で話し合い、プログラムを作成しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	4	2	10		現在交流の機会はありません。利用者様及び保護者様の意見をお聞きし検討していきます。
保護者へ	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1	2			支援計画の話し合いの場などを通じて、お子様の様子や今後の支援について説明しています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解ができているか	17	2				送迎時や支援計画の話し合いの場などで、できる限りお伝えできるよう心がけていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	5	1	2	保護者面談が年に1回あるといいと思います。	個別支援計画の面談は、6ヶ月に1回行っています。じっくりと相談されたいことがありましたら遠慮なくお申し出ください。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	6	8		現在は実施しておりません。ご要望がありましたら検討いたします。

の 説 明 等	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	5		4	苦情発生のないよう努めてまいります。発生した場合には適切に対応し早期解決に努めています。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	3			電話対応や送迎の機会を通して保護者の皆さまとのコミュニケーションがより円滑になるよう努めてまいります。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	1			1ヶ月に1回、通信を発行し、活動の様子や行事予定をお伝えしています。ホームページでは自己評価結果も公表しています。
	14	個人情報に十分注意しているか	16	2		1	個人情報書類は施錠の出来るロッカーで管理し、廃棄時はシュレッター処理するようにしています。
非 常 時 等 の 対 応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	3		9	今年度からBCP(緊急時の対応)の策定に取り組んでいます。保護者の皆様に概要をお知らせできないか検討します。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10	2		7	年2回避難訓練を実施し、その様子を広報で知らせています。
満 足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	18	1			今後も利用者様、保護者様が楽しみ、満足していただけるよう、努めてまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	16	3			

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。